

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

2018 年 8 月 17 日

三田市議会議長 今北 義明 様

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	公明党	代表者	平野 管子
		議員名	大西 雅子
派遣者氏名	大西 雅子		
視 察 先	明石市役所		
調査事項 (調査目的)	「あかし女性応援ねっと」事業について		
日 時	2018 年 8 月 3 日 (金) ~ 2018 年 8 月 3 日 (金)		
視察先対応者	明石市市民生活局市民協働推進室生涯学習課 あかねが丘学園長 福田ひとみ 明石市市民生活局市民協働推進室 男女共同参画課 課長 吉野 恭子 明石市議会事務局 次長 西海 由昌		
添付資料	・「あかし女性応援ねっと」活動履歴 ・「あかし女性応援ねっと」運営委員会名簿 ・「あかし女性応援ねっと」会員募集チラシ ・H29年度「あかし女性応援フォーラム」開催報告		

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時	2018年 8 月 3 日(金) 13 時 30 分～15 時 00 分
視察先	明石市役所
調査事項	「あかし女性応援ねっと」事業について
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>別紙に記載</p>	

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

【 概要と所見 】

「あかし女性応援ねっと」は、多種多様な分野・業種の会員からなるネットワーク事業である。この事業は、会員相互の交流や研究を通じて「あかし女性応援ねっと」の会員及び地域における女性の活躍の推進に寄与することを目的としている「新たな女性活躍のネットワーク組織」である。会員の加入は団体又個人も可能である。本事業は、企業、市民活動団体、NPO、保育・教育機関等様々な分野から選出された17名の役員により運営されている。

本事業の活動は、「あかし女性応援フォーラム」の開催。平成29年度は、第1部は講演会。第2部は、異分野交流会を実施。交流会では、自分たちが抱えている課題やワーク・ライフ・バランスの取り組みなど紹介し合い異分野間での交流を深めている。異分野での交流には利点が多くある。例えば、ある企業の会員から「保育士の人材が不足しているが、中々人材が見つからない。困っている。」このような困りごとに対し、他の会員からは「一度リタイヤをしたが、今復帰を望んでいる人がいる。」という情報の交換がなされている。市が直接関与しなくとも交流間の情報交換によって課題解決ができる。

交流会では、今まで余り交流がなかった人と人を結びつけることができる。その事によって狭い視野で物事を判断してきたことが、異分野との交流によって違う角度から物事を知ることができ、視野が広まることがある。

また他の活動には、スキルアップのための勉強会（企業向けワークライフバランスセミナーなど）の開催や女性の活躍を応援する啓発用冊子の作成・配布やフェイスブックを活用した情報発信を行っている。

三田市ではスキルアップ講座、セミナー等実施しているが、市内に点在する多種多様な分野・業種を結びつける事業はない。

三田市においても、このようなネットワーク事業が必要と感じ、今回明石市に視察に行った。視察の中では三田市において、どのようにしたら本事業展開ができるかとの助言も受けた。

助言内容としては、「あかし女性応援ねっと」事業を展開していくためには、行政の中に家庭生活と仕事の両立をやりきる意欲的な女性リーダーの存在が必要である事。

またその女性リーダーを育成していくには、時間をかけ育てていく事。それには、小さな成功事例を積み重ねながら自信を持たせてあげる事。その中でチャレンジ精神を生み出し、女性が活躍する社会を目指すリーダーにする事。そのリーダーは、行政における女性の活躍推進に尽力する役割とまた行政と市内に点在するリーダ

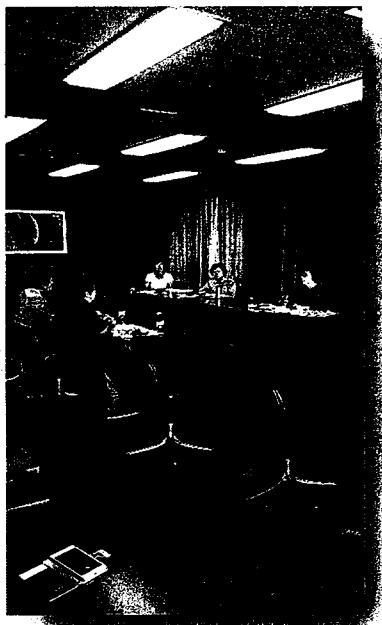
一とのパイプラインにならねばならない事。そんなリーダーが育成できた時、「あかし女性応援ねっと」事業は開始できるとの事であった。開始への道のりは長いと実感する。

本市は、女性課長職が4名である。他の女性管理職はいない状況であるが、今後は女性のチャレンジ精神や潜在した能力を発揮できるようなリーダー育成の更なる取り組みが必要である。

一方で職員の育成には、女性だけに限らず男性も同様である。リーダーを育てると共に、どんな状況になろうとも誰もが働きやすい環境を整える事が重要である。また制度が整っていたとしてもその制度を活用する者が少ないとすれば何か課題があると考えなければならない。

家庭事情や自己の健康状態でフルに仕事ができない状況になろうとも互いにフォローし合い仕事が円滑に努めていけるよう、一人一人のスキルアップや職場の環境づくりが重要であると考え。いずれにせよ行政は、市内企業に対し男女共同参画事業のお手本であらねばならないと考える。

更に女性の活躍推進を進めるには、明石市の事業のように性別を問わず多様なライフスタイルの人々が、業種やキャリアの垣根を越えて連携・協働し、意見交換や情報交換、研究を行うことにより、ネットワーク内や地域での女性の活躍を推進していく取り組みも必要であると考え。この事業は女性の一步踏み出すきっかけとなり、社会参加への意欲を高めることに繋がっていくと考える。本市においても男女共同参画、女性の活躍推進がより一層進展していったらいい。また自分も今回の視察を活かした提案ができるよう努めていく。



明石市役所にて撮影